



学校の信頼度UP!

保護者の皆様にご協力いただきました「学校評価アンケート」を分析しましたのでお知らせします。この結果を真摯に受け止め、来年度の学校教育活動を見つめ直して、よりよい学校づくりを進めたいと考えています。

「生徒」が多く項目で高い評価をしてくれたことがなによりうれしく思います。「教師」は逆に下がった項目が多いことから、自らの実践を厳しく評価している表れであり、良いことだと感じています。

分析が非常に細くなりましたので、「学校HP」をご覧くださいと読みやすいと思います。

なお、学校評価を十分加味して、平成28年度から30年度までの本校の「学校づくりビジョン」を見直しています。今後、職員会議、コミュニティスクール運営協議会、PTA役員会等で検討し3月末には策定いたします。来年度早々に保護者の皆さんに報告いたします。

【H27年度】 学校教育診断集計表及び考察

※評価数値は4段階評価の平均値 ⇒ 4:よくあてはまる 3:だいたいあてはまる 2:あまりあてはまらない 1:あてはまらない

回収率

100%

97%

92%

領域	診断内容	項目	設問内容	回収率		
				教職員用	生徒用	保護者用
教育目標	学校教育目標・教育ビジョンの適正	教 1	学校教育目標・教育ビジョンは生徒たちの実態に即した適切なものである。 <small>1段目 設問番号 2段目 27年度 3段目 26年度</small>	1		1
		保 1	学校教育目標・教育ビジョンは生徒たちの実態から見て適切なものである。	3.3		3.1 ↑
	学校教育目標・教育ビジョンの実現に向けた努力	教 2	学校教育目標・教育ビジョンの実現に向けて適切な取り組みを行なっている。	2	1	2
		生 1	先生たちは、山手中を「よい学校」にするために頑張っている。	3.1 ↓	3.4 ↑	3.1
		保 2	学校の教育活動は、全体的に見て満足できる状態にある。	3.2 ↓	3.3 ↑	3.1
		教 3	基礎・基本の定着を図るため、指導内容の精選や授業改善・工夫をしている。	3	2	3
わかる授業	生 2	先生たちは、授業をていねいに分かりやすく教えてくれる。	3.3	3.4	2.9	
	保 3	生徒は、授業をていねいに分かりやすく教えてもらえると話している。	3.3	3.4	2.9	
	教 4	特色ある教育課程となるよう、3Wやボランティア活動等の工夫に取り組んでいる。	4	3	4	
特色ある教育課程の編成	生 3	学校では、総合的な学習(地域学習や職場体験学習等)や行事等、意欲的に取り組める内容がよく行われている。	3.2 ↓	3.5 ↑	3.3 ↑	
	保 4	生徒は、総合的な学習(地域学習や職場体験学習等)や行事等、意欲的に取り組んでいる。	3.3 ↓	3.4 ↑	3.2 ↑	
学習面	道徳や人権・同和教育の充実	教 5	「心の教育」の充実のため、道徳や人権・同和教育の推進に努力している。	5	4	5
		生 4	命の大切さや社会のルール、人権教育等についてよく学習している。	2.7 ↓	3.3 ↑	3.1
		保 5	教師は、命の大切さや社会のルール、人権を大切に子どもを育てようとしている。	2.8 ↓	3.2 ↑	3.1
進路指導の充実	教 6	生徒一人ひとりの進路保障に向け、3年間を見通した進路指導や情報提供を行っている。	6	5	6	
	生 5	将来の進路や職業について学習や体験をしたり、進路について考えたりしている。	2.9 ↓	3.3 ↑	3.0 ↓	
	保 6	生徒は、将来の進路や職業について学習や体験をしたり、進路情報を知らせてもらったりしている。	3.0 ↓	3.2 ↑	3.1 ↓	
適切な評価	教 7	学習等における生徒の能力や努力、学力を適切に評価している。	7	6	7	
	生 6	先生たちは、学習の取り組みをきちんと評価してくれる。	3.4	3.4	3.0	
	保 7	教師は、学習等における生徒の能力や努力、学力などを適切に評価している。	3.4	3.4	3.0	
「朝の読書」の有効性	教 8	「朝の読書」は、生徒たちの基本的な生活習慣づくりや興味付けに役立っている。	8	7	8	
	生 7	「朝の読書」で読書に興味が高まった。	3.3 ↑	3.2	3.2 ↑	
	保 8	「朝の読書」は、読書の興味付けに役立っている。	3.2 ↑	3.2	3.1 ↑	

【全体的な考察】

4段階で評価していただきましたので、平均値が3.1を超えるもの（3が「だいたいあてはまる」なので、それを超えている）を「高い評価」、3.4を超えるものを「とても高い評価」と判断し、考察しました。**生徒アンケートの結果では、16項目中15項目で3.1を超えており、9項目で3.4を超えていました。さらに11項目で昨年度よりポイントが上がっており、充実した学校生活を送れているものと推察されます。**

保護者アンケートにおいても、19項目中15項目で、平均値が3.1を超えていました。さらに、6項目で昨年度よりポイントが向上しています。これは、山手中学校の教育方針、教育活動をご理解、ご支援いただいているものと考え、心より感謝いたします。この結果に甘えることなく、さらにより良い教育活動を進めてまいりたいと思います。

【「教育目標と学習面」についての考察】

生徒アンケートでは、「**学校教育目標・教育ビジョンの実現に向けた努力**」「**わかる授業**」「**特色ある教育活動の編成**」「**適切な評価**」の4項目で**3.4を超えており、とても高い値となっています。**それ以外の項目でも、3.1を超えています。これは、学習活動において充実していることの表れだと考えられます。山手中学校ではここ数年、「生徒同士が関わり合い、学び合いのある授業の創造」をテーマに、授業づくり、授業改善を進めてきました。普段の授業で、小グループで話し合ったり、問題を解決したり、自ら積極的に授業内容に関わる授業形態をできるだけ多く取り入れてきました。また、総合的な学習の時間の取組や防災教室、不審者対応教室など、多く地域の方に学校に来ていただき、生徒に直接指導する機会も多く取り入れてきました。こういった取組の成果が表れてきたものと考えます。

保護者アンケートにおいても、多くの項目において3.1を超えております。しかし、「わかる授業」では、2.9と少し低くなっております。この結果は、保護者の「わかる授業」への強い要望の表れであると考えます。この期待に応えるべく、今後も教職員の授業における研修を更に進めてまいりたいと思います。また、この項目では、生徒アンケートとの差が0.5ポイントもあります。この差を少しでも減らしていくには、普段の学校の様子を知っていただくことが大切かと考えます。授業参観や学校公開日の設定だけでなく、学校通信や学年通信、学校ホームページ（以下学校HP）などを活用し、授業の様子などをお知らせしていきます。

「進路指導の充実」の項目においても、昨年度より0.1ポイント下がり、3.0となりました。特に1年生の保護者のアンケート結果が2.8と低くなっております。教職員のアンケートにおいても2.9と他の項目よりも低くなっております。**本年度は3年生の進路説明会の冊子を1, 2年生の教室に配布し、自由に閲覧できるようにしたり、学校HPに「進路のページ」を新設し、高校入試要項を確認できるようにするとともに、各高校のHPをリンクするなど、進路指導の充実を図ってきました。**しかしながらこのような評価であったことを胸に留め、今一度、教育活動全般において、キャリア教育の視点を取り入れた指導を行っていくことを再確認し、これからの指導にあたっていきます。

保護者アンケートの記述欄にも、いくつかのご意見いただきました。その中で一番割合が高かったのは、「授業」「評価」についてでした。具体的に書いていただいてもものもありましたので、それぞれの教科や学年、あるいは全体で検討し、改善してまいりたいと思います。

教職員アンケートでは、「道徳や人権・同和教育の充実」の項目が2.7と低い値になっています。この項目は、他の項目と比べて毎年低い値となっています。これは、学校生活や地域での生活の中で、生徒同士のトラブルやネットでのトラブル、心ない発言や仲間を冷やかしたり、馬鹿にしたりする行動、登下校時の一部の生徒の交通マナーでの苦情等があり、道徳心・社会的モラルの点でまだまだ満足いく結果となっていないという教師集団の意識の表れであると考えられます。

この対応としては、道徳の時間の充実はもとより、日常の生徒の様子や友人関係を把握すべく休み時間の巡回指導や、授業での教師の複数配置等の指導を行ってきました。また、地域の連絡協議会やPTAと協働としての活動である「あいさつ運動」や校区内のポイントとなる場所を決め下校指導を行うなど、登下校時の安全・マナー教育を行ってきました。これらの取組を通し、生徒の学校生活・地域生活でのモラルの向上や人権に関わる問題行動の未然防止・早期発見・早期対応に向けて取り組んでいます。今後さらに取組を強化するとともに、校区内の保育園や幼稚園、小学校との連携を強化しながら、生徒の規範意識を高め、改善に向けて取り組んでいきたいと考えます。

生活面	充実した学校生活	教 9	生徒は、のびのびと学び、充実した学校生活を送っている。	9	8	9	
		生 8	学校生活は楽しい。	3.3	3.5	3.4	
		保 9	生徒は、学校生活を楽しく送っている。	3.2	3.4	3.4	
	生徒指導上の問題への対応	教 10	いじめや校内暴力等に毅然とした態度で対応し、人間関係づくりに組織的に取り組んでいる。	10	9	10	
		生 9	先生たちは、いじめや友達関係等の問題について対応してくれる。	3.4	3.4	3.1	
		保 10	教師は、いじめ等のない温かい人間関係づくりに取り組んでいる。	3.3	3.2	3.1	
	教育相談等、生徒との関わり	教 11	生徒とのふれ合いを大切にして、生徒の心に寄り添う生徒指導に努めている。	11	10	11	
		生 10	先生たちは、教育相談等を通じて、自分の悩み等に親身になって接してくれる。	3.4	3.4	3.1	
		保 11	教師は、生徒の悩みや問題に親身になって接してくれる。	3.4	3.3	3.1	
	部活動の充実	教 12	生徒の主体性を重んじた、部活動の指導に取り組んでいる。	12	11	12	
		生 11	部活動は楽しく充実している。	3.2	3.5	3.4	
		保 12	生徒は、部活動に楽しく参加している。	3.2	3.4	3.4	
	自立した社会性の育成	教 13	社会のルールとともに、時や場所に応じた言動や挨拶について、様々な領域において指導している。	13	12	13	
		生 12	いろいろな活動を通じて、社会のルールや言葉遣い、挨拶等について学んでいる。	3.2	3.5	3.2	
		保 13	生徒は、社会のルールとともに、時や場所に応じた言動や挨拶について学んでいる。	3.2	3.4	3.1	
	家庭や地域の信頼に応える学校づくり	保護者や地域の人たちとの連携	教 14	保護者や地域の人たちと連携し、「地域に開かれた学校づくり」に取り組んでいる。	14	13	14
			生 13	総合的な学習やPTA行事（大縄大会やデイハイクなど）等を通じて、社会や地域の人たちと接する機会が増えている。	3.3	3.2	3.3
			保 14	学校は、保護者や地域に学校を公開し、生徒と地域の交流の機会をよく設けている。	3.4	3.2	3.3
危機管理体制(安全対策)		教 15	安全計画を立て、日常的な安全指導や不審者情報等に対処できる体制が整っている。	15	14	15	
		生 14	災害や不審者等への心構えはできている。	3.0	3.2	3.3	
		保 15	教師は、生徒が安心して学校生活を送れるよう安全に配慮している。	3.1	3.1	3.1	
情報発信の努力		教 16	学校・学年・学級通信等で、学校の様子や活動等を保護者や地域によく伝えている。	16	15	16	
		生 15	学校からの配付物は、保護者にきちんと見せている。	3.5	3.2	3.1	
		保 16	教師は、ホームページや通信等で、学校の様子や行事等の連絡を分かりやすく伝えている。	3.2	3.2	3.1	
情報受信の努力		教 17	教育活動や地域の行事等を通して、生徒や保護者、地域の人たちの願いを掴むように努力している。	17		17	
		生		3.3		3.1	
保 17		教師は、生徒や保護者、地域の人たちの願いや思いを受け止める努力をしている。	3.2		3.1		
教職員の対応(接遇)		教 18	保護者や地域の人たちからの問い合わせに対して誠実に対応している。	18		18	
		生		3.6		3.2	
保 18		教師は、保護者の問い合わせに誠実に対応している。	3.6	3.4	3.3		
学校施設・設備の環境整備、有効活用		教 19	学校の施設や設備は、学習環境として整備され、有効に活用されている。	19	16	19	
		生 16	学校の施設や設備は、活動をする上で整備され使いやすい。	2.4	2.9	2.9	
		保 19	学校の施設や設備は、活動をする上で整備されている。	2.4	2.8	2.8	

【「生活面や家庭や地域の信頼に応える学校づくり」についての考察】

「充実した学校生活」「部活動の充実」の項目においては、生徒（3.5）・保護者（3.4）とも、とても高い値となりました。現在、学校が落ち着き、安心して学校生活を送れ、その中で充実した活動ができていたことの表れであると捉え、うれしく思います。今後も生徒にとって安心・安全な学校づくりを進めてまいります。

「生徒指導上の問題への対応」「教育相談等、生徒との関わり」の項目では、生徒・教職員（ともに3.4）はとても高い値となりました。前述しましたが、授業のときだけでなく、休み時間も廊下等で教職員が巡回指導を行い、生徒とのふれあいを大切に、生徒の様子を見守っています。学期に1回「教育相談期間」を設け、担任と生徒が1対1で話す機会を作っております。このようなトラブルを未然に防ぐ取組を行っています。また、何かトラブルが生じた時は、できるだけ早く、複数の教員で対応するように心がけています。こういった取組の成果の表れと考えます。

ただし、保護者アンケートの結果が決して低いわけではありませんが、生徒・教職員のアンケート結果と保護者アンケートの差が0.3ポイントあります。これまでも保護者と連絡を取り合い、連携を密にしていたつもりではありますが、この差の0.3ポイントを肝に銘じ、さらなる連携強化を図っていきたくと思います。

「自立した社会性の育成」の項目では、生徒・保護者ともに上がっていました。特に生徒アンケートでは3.5となり、大変高い値となりました。これまで機会ある度に、ルールを守ることの大切さ、相手を思いやることにつながるマナーの大切さ、人と人をつなぐ挨拶や言葉遣い等の大切さを知らせてきました。生徒もそれらの大切さを理解し、実践する生徒が増えてきましたことの表れであると、大変うれしく思います。

「保護者や地域の人たちとの連携」の項目も高い値でした。デイハイク、大縄大会などPTA行事やクリーン大作戦など地域の方とともにを行う行事がたくさんあります。山手中学校の強みの1つだと考えます。こういった行事は生徒の情操教育という面だけでなく、将来的な地域への誇り、地元愛につながると考えられます。行事の意味や経緯を伝えつつ、また、土曜授業との関連を考え、時代の流れにあった内容や方法を探っていきたくと考えています。

「危機管理体制（安全対策）」の項目は、生徒・保護者とも上がっていました。消防署の職員を招いた防災教室（1年生）、海蔵地区セフティネット協議会や四日市北警察署に協力を得て行った不審者対応教室（2年生）、海蔵地区防災会との共同で企画し行った避難所開設にあたってのワークショップ（2年生）などを通して、安全に対する意識の向上があったと考えられます。

関連して、「学校施設・設備の環境整備、有効活用」の項目は、低いながらも生徒・保護者とも上がりました。この項目は例年、生徒や保護者の方からもご指摘を受けていることであり、我々教職員にとっても是非改善をしていきたい要望事項となっております。施設改善に対しては、市教育委員会に対して強く要望を重ねてきており、今年度も防球ネットの嵩上げ、スプリンクラーの修繕、高架水槽の交換、教室の増設など、改善がなされました。このあたりを評価していただいたものと考えます。しかし、生徒・保護者・教職員ともに、2点台の値ということを考えますと、施設設備の使いやすさや安全面からは、まだまだ他の学校と比べても低いと言わざるを得ません。今後も強く市教育委員会に要望していきたくと考えています。

「情報発信の努力」の項目では、教職員と生徒・保護者の値の差が大きく出ました。これは学校HPを充実させ、学校や生徒の様子、教育に関する情報発信の努力を行いましたが、広く周知させることができなかったことが原因だと考えます。引き続き、学校HPをより多くの方に見ていただけるような工夫をしていきます。

「教職員の対応（接遇）」の項目についても、教職員と保護者の値に大きな差がありました。保護者アンケートの数値が決して低いわけではなく、教職員の値がそれ以上に高くなっていると考えられます。この項目に限らず、教職員一同、自らの行動を振り返り、厳しい目で自分自身を見つめ、自らの行動を律していきたくと思います。保護者の皆様の期待に応えられるよう、努力していく所存です。

最初にも書きましたが、全体として、生徒アンケート、保護者アンケート共に高い評価をいただきました。感謝すると同時に、気を引き締めていきたくと思います。しかし、これらの数値だけを見ては、見逃してしまう思いや願いがあることも十分承知しております。学校づくりビジョンにありますように、生徒の「豊かな人間性」を育み、「基礎学力向上」を目指し、「地域やPTA、保育園・幼稚園・小学校との連携」をはかりながら、「教えるプロとしての自覚」を持ち、今後の教育活動を進めてまいりたいと思います。